

平成21年度

保健福祉局実施プラン中間報告

1 中間報告の概要

平成19年12月に策定した第2次札幌新まちづくり計画において、保健福祉局として最も重きを置いていることは、「地域福祉力の向上」です。

市民が主体となるNPOやボランティアと福祉事業者、そして関係団体等が緊密に連携をとり、さらには行政が支援を行うことによって、高齢者・障がい者の安心・安全な生活、地域の健康づくりなど、地域全体で支えていく力、「地域福祉力」を向上させることが重要であり、このことを念頭におきまして、このプランで掲げた項目を積極的に進めております。

年度の前半を終え、これまでの取り組みの進捗状況については、おおむね順調に進んでおりますが、年度後半におきましても、引き続き目標の達成に向けて、着実に施策を進めてまいります。

平成21年(2009年)9月30日

保健福祉局長 岡村 龍一

保健福祉局医務監 渡部 正行

2 重点取組項目の進捗状況

年度前半（9月末時点）の取組みの進捗状況について、記号などを用いて、市民の皆さんに分かりやすいものとなるよう表現しました。

中間報告の見方

事業名を記載(記載済)

進捗度 /

事業の内容を記載しました。

上半期の取組み状況

9月末時点における進捗状況を記載しました。

今後の取組み

年度後半に向けた今後の取組み内容を記載しました。

9月末時点の進捗度を分かりやすく記号で表現しました。

- ・・・計画以上のもの（進捗良好・内容充実）。
- ・・・計画どおりのもの。
- ・・・計画に対して思わしくないもの。

(1) まちづくりの施策

高齢者の地域生活支援の充実

ねんりんピック北海道・札幌 2009

進捗度 /

9月5日(土)～8日(火)の4日間、ねんりんピックが盛大に開催され、無事終了いたしました。

上半期の取組み状況

ねんりんピック開催に向け準備を進め、札幌市開催種目の運営等を行いました。

今後の取組み

高齢者のスポーツ・文化の祭典であるねんりんピックが市民の皆様に広く周知されました。

今後より一層、高齢者の方々の健康保持・増進、生きがい、社会参加への支援を進めてまいります。



福祉のまち推進センター補助・ステップアップ事業

進捗度 /

区や地区福祉のまち推進センターによる地域の支え合い活動を推進するため、活動費や拠点確保について支援をします。

上半期の取組み状況

地域の支え合い活動を推進するため、活動費や拠点確保について支援をしました。

また、活動を多くの市民の方に知ってもらうため、フォーラムやパネル展を開催しました。

今後の取組み

引き続き、地域の支え合い活動を推進するとともに、地域に福まち助っ人(アドバイザー)を派遣し、地域の課題整理、住民意識の共有化等の支援をします。



福祉除雪事業

進捗度 /

自力で除雪が困難な高齢者や障がいのある方が冬期間も安心して暮らせるよう、地域協力員が間口除雪などのサービスを行うとともに声かけなどの安否確認を行います。

上半期の取組み状況

退職予定者説明会などを通じて、除雪サービスを行う地域協力員を広く募集しました。

今後の取組み

さらに協力員を広く募集するため、大学等に通う若い世代の方に対しても参加の呼びかけを行います。



高齢者ひとくち講座事業

進捗度 /

介護予防の一環として、介護予防センターと食のボランティアの食生活改善推進員協議会が、高齢者の食事のアドバイスや食品の提供を行う講座を開催しています。

上半期の取組み状況

現在、55件の申し込みがあり、9月末までに31件開催されており、順調に事業が進みました。

今後の取組み

開催申し込みの少ない区の介護予防センターに、再度、働きかけを行い、後半の事業展開につながるようにします。



はつらつシニアサポート事業

進捗度 /

高齢者の地域貢献活動に結びつけるきっかけづくりとなるような、新しい時代の高齢者の生きがい活動の支援として、シニアチャレンジ事業、シニアサロンモデル事業を実施します。

上半期の取組み状況

シニアチャレンジ事業は、1団体の事業に補助するとともにシニアサロンモデル事業については、1ヶ所新設し、10ヶ所のサロンを設置しています。

今後の取組み

シニアチャレンジ事業及びシニアサロン事業が円滑に実施されるよう指導・支援を行います。



札幌あい(愛)・あい(目)ネット事業

進捗度！

集合住宅に住むひとり暮らし高齢者等の孤立死を防止するため、1年間のモデル事業で得た成果を報告書にまとめ、それを活用して全市を対象に普及啓発に取り組めます。

上半期の取り組み状況

モデル事業で行った見守り・安否確認の取り組み方法などの成果を報告書にまとめ、シンポジウムなどで啓発を行いました。

今後の取り組み

モデル事業での成果を踏まえ、引き続き、電話相談や出前講座、チラシの作成・配布などの啓発を行います。



認知症サポーター養成事業

進捗度！

認知症になっても安心・安全に暮らせるよう、地域における認知症の理解者(=認知症サポーター)の養成を行います。

上半期の取り組み状況

認知症サポーター養成講座を開催し、認知症サポーターを2,000人養成し、2次新まちの目標(9,000人)を達成しました。また、講座の講師となる「キャラバン・メイト」を新たに120人養成しました。

今後の取り組み

本市職員向けの講座開催、引き続き認知症サポーターの養成を進めていきます。



地域包括支援センター(介護・健康何でも相談センター)運営事業

進捗度！

介護予防支援の拠点となる地域包括支援センターについて、体制強化を図るとともに、平成22年度からの4か所の増設に向けて準備を進めています。

上半期の取り組み状況

北区、東区、厚別区及び手稲区に増設する地域包括支援センターの運営法人に対し、円滑な増設・運営に向けた説明会を開催しました。

今後の取り組み

平成22年4月の開設に向けて、新センター運営法人との調整や、関係機関及び地域団体等に周知を図り円滑な増設移行を図ります。



特別養護老人ホーム新築費補助

進捗度 /

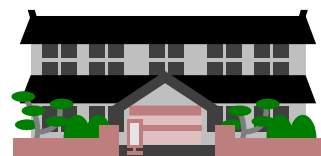
高齢者が要介護状態になってもできる限り住み慣れた地域で生活を継続できるように、地域密着型の特別養護老人ホーム 2 か所の新築に対して補助を行います。

上半期の取組み状況

北海道の補助金を活用して、2 か所（東区と西区、合わせて定員 58 人分）の整備を進めています。（他に補助なしで 1 か所整備）

今後の取組み

早期の開設を目指し、引き続き、開設に向けた準備を進めます。



若年性認知症支援事業

進捗度 /

若年性認知症の理解を広め、若年性認知症の方とその家族の方が住みなれた地域での生活を継続できるよう支援します。

上半期の取組み状況

専門職による週一回の電話相談のほか、電話相談員の研修会、介護従事者に対する研修会を実施しました。

今後の取組み

医療・介護などの職種による一日相談会、市民講演会、男性介護者を対象とした家事のコツ等の研修・交流会を開催します。



札幌市地域リハビリテーション推進協議会

進捗度 /

高齢者や障害のある方が、住み慣れた地域で生き生きと自立した生活をおくれるように地域リハビリテーションを推進します。

上半期の取組み状況

リハビリテーションハンドブック(情報冊子)は原稿作成中。研修会は、7月に1回目を実施(写真)。

今後の取組み

情報冊子は、平成 21 年度末までに印刷完了予定。研修会は、10月と12月の計2回実施予定。



障がい者の自立支援の促進

障がい者相談支援事業等

進捗度 /

障がいのある方とその家族の地域生活を支えるため、各種制度の情報提供や福祉サービスの利用援助などの相談ができる相談支援事業所を拡充していきます。

上半期の取組み状況

すべての相談支援事業所であらゆる障がいの相談支援を行える体制づくりや虐待対応員の配置、ピアサポーター配置事業所を増やすなど機能強化を図りました。

今後の取組み

平成21年10月に相談支援事業所を1ヵ所増やし、次年度以降も、相談支援事業所を順次増やしていきます。



障害者就労訓練設備等整備事業

進捗度 /

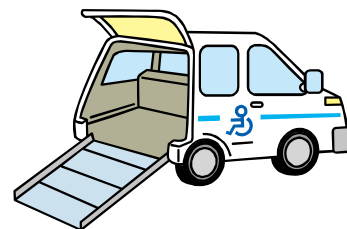
障害者自立支援法に基づく新体系事業への移行を円滑に進めるため、障がい者施設等に対し、移行にあたって必要となる設備整備費に対して補助を実施します。

上半期の取組み状況

事業計画書の提出があった8施設・事業所について、厚生労働省に協議書の提出を行いました。

今後の取組み

厚生労働省の補助採択があった施設・事業所に対し、補助金の交付を行い、新体系事業への移行を円滑に進めます。



元気ショップ運営事業

進捗度 /

障がいのある方が作った製品を販売する「元気ショップ」(地下鉄大通駅定期券発売所横)をより効果的に運営し、市民の障がいに対する理解促進を図っていきます。

上半期の取組み状況

さまざまイベントへの出店のほか、子どもの障がいに対する理解を進めるため製品づくりなどの夏休み体験イベントを実施しました。

今後の取組み

商品カタログ「元気ブック」の更新を行うほか、引き続き出前出店にも積極的に取り組み、市民の障がいに対する理解を進めていきます。



障がい者施設等に対する発注機会の拡大

進捗度 /

障がい者施設などで製作された製品などの発注機会の確保と拡大に向けた検討を進めていきます。

上半期の取組み状況

施設で行っている清掃などの役務サービスの発注を進める「元気ジョブ アウトソーシングセンター」を新たに事業化し、運営委託業者を選定しました。

今後の取組み

「元気ジョブ アウトソーシングセンター」を核として、民間企業等への営業を進め、障がい者施設への発注促進を行っていきます。



知的障がい者等を対象としたホームヘルパー養成モデル事業

進捗度 /

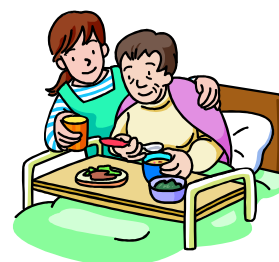
知的障がいのある方の社会参加を支援するため、NP 法人など民間団体と連携し、高等養護学校卒業生などを対象に、ホームヘルパー3級養成講座を実施します。

上半期の取組み状況

これまでの取組の検証や11月開講を目指した準備を進めました。

今後の取組み

講座受講希望者を広く募集し、受講者(20名程度)全員の資格取得を目指して、養成講座を運営していきます。



元気はっけん(派遣)事業

進捗度 /

人材派遣会社を通じた企業等への派遣を試行的に実施し、重度の障がいのある方などの民間企業での雇用機会を広げていきます。

上半期の取組み状況

本事業のPRに努めた結果、登録件数も順調に伸び、研修や実習を進めています。9月に第1号となる派遣が成立しました。

今後の取組み

引き続き、実習や派遣先を増やし、当該事業が障がい者就労に適しているか検証していきます。



障がい者協働事業

進捗度 /

障がいのある方が他の従業員からサポートを受けながら共に働く、協働事業所を拡充していくとともに、当該事業を広くPRし、障がい者雇用に関する理解を進めていきます。

上半期の取組み状況

新規補助希望事業者の募集を行い、外部委員が参加した選定委員会で2事業者を選定しました。

今後の取組み

当該事業を広く市民へPRし、障がいに対する理解を促進します。



精神障がい者地域生活移行支援事業

進捗度 /

条件が整えば退院可能な精神障がい者に対して個別支援等にあたる地域移行推進員等を配置し、退院に向けた支援を行うことにより、円滑な地域移行の促進を図ります。

上半期の取組み状況

地域移行支援協議会にて決定された事業対象者への個別支援を行いつつ、関係機関への更なる周知を図りました。

今後の取組み

新たな事業対象者の拡充のための関係機関説明会等及び個別支援に携わる職員のスキルアップ研修を実施します。



優しさと思いやりのバリアフリー

進捗度 /

「数値化されたバリアフリー基準のみに頼るのではなく、障がいのある方や高齢者の力を借りて、人の目や感覚で確認していくバリアフリー」を検討します。

上半期の取組み状況

「第5期札幌市福祉のまちづくり推進会議」の中で検討を行い、これについての報告書を取りまとめました。

今後の取組み

今年度中に報告書の内容に沿った形で新たなシステムを策定し、22年度からの運用開始を予定しています。



地域活動支援センター(就労者支援型)運営費補助事業

進捗度 /

就労者支援型の地域活動支援センターへの補助を実施し、就労している障がいのあ
る方の日常生活・就労面双方の相談等に応じていきます。

上半期の取組み状況

障がいのある方や企業からの相談に応じるとともに
働く障がい者の交流支援を行いました。

今後の取組み

引き続き、障がい者就労の関係機関と連携を進めながら、
障がいのある方や企業への相談支援等を行っていきます。



障がい者グループホーム・ケアホームの拡充

進捗度 /

障がいのある方が安心して地域での自立生活を営むことができるよう、暮らしの場と
なるグループホームやケアホームを拡充していきます。

上半期の取組み状況

平成 21 年 9 月 30 日時点で、32 か所の住居が新たに
設置されており、計画を上回り、順調に推移しています。

今後の取組み

引き続き、グループホーム・ケアホームの新規設置時
に必要な、共用備品の購入経費等を補助します。



のぞみ学園改修事業

進捗度 /

昭和 5 6 年度に建設された第 1 種自閉症児施設「札幌市のぞみ学園」は老朽化・狭隘
化が進んでいるため、利用者に適切な療育環境を提供するための改修工事を行います。

上半期の取組み状況

設計業者を決定し、改修に向けた基本・実施設計業務
を開始しました。

今後の取組み

設計業務終了後、速やかに工事業者を決定し、平成 22
年秋頃の供用開始に向け、改修工事を開始します。



地下鉄エレベーター等の整備

進捗度 /

高齢者や障がいのある方などの社会参加を促進し、誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりを目指して、地下鉄駅のエレベーターを設置します。

上半期の取組み状況

南北線中の島駅（真駒内方面）のエレベーターの設計を進めています。

今後の取組み

南北線中の島駅（真駒内方面）のエレベーターの設計を年度内に完了し、22年度から工事を行います。



医療体制の確保

産婦人科救急医療体制の充実

進捗度 /

医療機関の受入れ可否情報の集約、患者搬送の手配、夜間における産婦人科に関する救急電話相談を行います。

上半期の取組み状況

4月から、日中の時間帯においてもオペレーター業務を拡大し、救急搬送が必要となった患者に、適切な医療を提供できました。

今後の取組み

関係医療機関との連携をさらに強化し、引き続き、迅速な救急搬送を継続します。



救急医療体制の確保

進捗度 /

札幌市における救急医療体制をより円滑に推進するため、救急医療体制整備支援事業を進めます。

上半期の取組み状況

救急医療の当番体制を予定通り実施し、市民の皆様には安心いただける救急医療体制を確保することが出来ました。

今後の取組み

関係機関と連携し、引き続き、安心・安全な救急医療体制を提供していきます。



精神科救急医療体制整備事業

進捗度！

精神障がいのある方やその家族からの医療相談に 24 時間対応し、医療機関への連絡調整など適切な対応を行う「精神科救急情報センター」を運営します。

上半期の取組み状況

8 月末までで 2,031 件の電話相談を受け、その内 87% は電話相談で一定の解決が図られています。

今後の取組み

今後とも、平日夜間・休日における患者・家族の不安に適切に対応し、精神障がい者の地域生活を支えていきます。



災害時医療体制の整備事業の推進

進捗度！

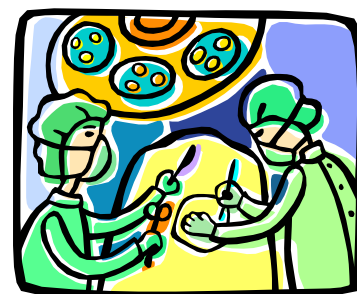
大地震等により多数の負傷者が発生した時に、適正な医療を迅速に市民に提供できるように、札幌市医師会等の関係団体や医療機関が一堂に会した訓練等を実施します。

上半期の取組み状況

訓練の実施に向けて、訓練内容の詳細について、札幌市消防局や危機管理対策室と協議を行いました。

今後の取組み

さらに検討を進め、災害時を想定して、関係団体が一堂に会した情報伝達訓練等の効果的な訓練を実施します。



新型インフルエンザ対策の推進

進捗度！

市内においても感染者が確認され、発熱外来の設置など医療体制の確保や、市民生活や社会経済機能の維持に必要な対策を実施します。

上半期の取組み状況

発熱外来などの医療体制の確保及び発熱相談センターの設置等市民生活の維持に必要な体制の整備を実施しました。

今後の取組み

予防方法等、市民への普及啓発を進め、感染拡大の防止や重症者に対する医療体制の整備を図ります。



食の安全・安心の確保

安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業

進捗度 /

食品の生産、製造、販売等における安全性向上や市民の食の信頼確保を基本に、食産業や観光の振興も視野に入れた食の安全・安心に関わる施策を庁内連携して推進します。

上半期の取組み状況

外部委員会を3回開催して施策の推進について議論したほか、新たに市民交流事業(事業者との意見交換、参加者満足度100%)や事業者等との協定事業に取り組みました。

今後の取組み

「市民交流事業」において、食品工場の衛生管理を見学し、白衣を着て現場へ向かう参加者たち

現在の取組を継続しながら、外部委員会より今後の施策への提言を年度末にいただき、市政に反映させます。



「しょくまる」(札幌市食品衛生管理認定制度)の普及・啓発

進捗度 /

食中毒防止の観点からの的確な自主管理を行っている施設を認定して自主管理を推進し、市民の皆さんが安全な食品の提供が受けられることを目指します。

上半期の取組み状況

制度を紹介するDVDを作成・配布するとともに講習会等で説明し、その効果とメリットについて広く広報しました。

今後の取組み

認定を受けた施設がサポートを受けられる分野をさらに広範囲のものとするよう働きかけ、さらに多くの施設の制度活用を目指します。



札幌市食品衛生管理認定制度ロゴマーク
「しょくまる」

食の安全・安心に関するリスクコミュニケーション

進捗度 /

「食の安全」市民フォーラムの開催や、札幌市食品衛生監視指導計画について意見を求めるなど、食の安全・安心について、双方向で情報や意見を交換します。

上半期の取組み状況

20年度の札幌市食品衛生監視指導計画の実施結果を公表しました。また、「食の安全」市民フォーラムの開催に向け、準備を始めました。

今後の取組み

「食の安全」市民フォーラムを1月頃に開催する予定です。また、22年度の札幌市食品衛生監視指導計画の策定に向けて、市民の意見を募集します。



食品の抜き取り検査の充実・強化

進捗度 /

輸入食品の安全性に関する問題が多発していることから、輸入冷凍食品の残留農薬の検査や輸入菓子のメラミンの検査など、食品の抜き取り検査の強化を図ります。

上半期の取組み状況

輸入冷凍食品の残留農薬の検査や輸入菓子のメラミンの検査を実施しましたが、全て問題はありませんでした。

今後の取組み

引き続き輸入冷凍食品の農薬検査を実施し、輸入食品の安全確保に努めます。



子どもを生き育てやすい環境づくり

妊婦健康診査の公費負担拡充

進捗度 /

妊婦が経済的な心配をすることなく、必要な回数の妊婦健診を受診できるよう、14回分の公費負担を実施します。

上半期の取組み状況

安全で安心な出産と健康な子どもの出生のために、健康状態などを把握する妊婦健診を、4月から14回に拡充しました。

今後の取組み

定期的な妊婦健診の必要性について、母子健康手帳の交付時、保健所ホームページなどで周知を進めていきます。



生後4か月までの全戸訪問(母子保健訪問指導事業)

進捗度 /

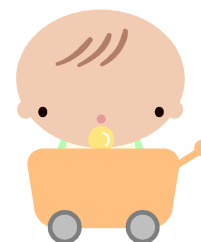
生後4か月までの乳児がいる全てのご家庭に訪問し、妊娠・出産・育児に関する正しい知識の普及と疾病・異常の早期発見、育児不安の軽減を図り、育児を支援します。

上半期の取組み状況

各ご家庭から提出される出産連絡票をもとに対象者の把握に努め、対象家庭への訪問を実施しました。

今後の取組み

母子健康手帳交付時などに事業周知を行い、できるだけ多くのご家庭への訪問実施に努めます。



不妊治療支援事業

進捗度 /

不妊に悩む夫婦の経済的、精神的負担を軽減するため、高額の医療費がかかる特定不妊治療費の一部助成と、不妊専門相談センターでの相談および情報提供を実施します。

上半期の取組み状況

平成 21 年 8 月より特定不妊治療費の助成額の上限を 10 万円から 15 万円に増額し、経済的支援の拡充を図りました。

今後の取組み

制度の拡充に合わせリーフレットをよりわかりやすい内容に改訂し、必要な情報を適切に提供できるよう努めていきます。



食育推進事業

進捗度 /

食育関係者・関係団体等協働で食育を進めるために、食育ホームページ、食育サポーター制度を充実させ、市民と共に食育を進めていきます。

上半期の取組み状況

北海道型食生活を啓発するために、食育ホームページに「私の北海道型食生活」を募集し掲載しました。

今後の取組み

環境に配慮する食育の充実を図るために、「もったいない運動」などの事業展開を図っていきます。



地域でのスポーツと健康づくりの推進

健康さっぼろ 21 推進事業

進捗度 /

市民一人ひとりが主体的に健康増進を図っていくことを応援する健康づくり基本計画です。ITを活用した情報提供の充実や地域・職域との連携を推進していきます。

上半期の取組み状況

ホームページに、「禁煙対策の動画」、「札幌市食育推進計画」、「ウォーキングイベント情報」などを追加掲載し、健康情報の充実を図りました。

今後の取組み

地域保健と職域保健の連携による健康支援を行うため、「平成 21 年度地域・職域連携推進会議」を開催し、情報の共有化を図ります。



市民健康づくりサポート事業

進捗度 /

市民の自主的・継続的な健康づくり活動をサポートするために、年間を通して手軽に取り組めるウォーキングなどの普及を図ります。

上半期の取組み状況

「ウォーキング実践指導ボランティア研修」受講者が中心となり民間団体・行政が協働し、「第2回市民交流ウォーキング大会」を開催しました。

今後の取組み

生活習慣病予防対策として、「働き盛りの健康づくり事業」「冬の健康づくり事業」「ウォーキング実践指導ボランティア研修事業」を実施いたします。



特定健康診査・特定保健指導の推進

進捗度 /

生活習慣病の発病や重症化を予防し、加入者の健康状態の維持・向上を図ることを目的に、「特定健康診査」と受診結果に基づき実施する「特定保健指導」を進めます。

上半期の取組み状況

受診率向上のためアンケートを実施し、受診対象者の意見・要望の分析を行ったほか、電話による受診勧奨を行いました。

今後の取組み

引き続き制度のPRや受診勧奨を行い、特定健診の受診率及び特定保健指導の実施率の向上に努めます。



その他の重点取組項目

災害時要援護者避難支援対策

進捗度 /

市内4つのモデル地区において、災害時要援護者（高齢者、障がいのある方など）の避難支援体制を整備します。また、普及啓発として出前講座やフォーラムを実施します。

上半期の取組み状況

モデル地区（北、東、白石、豊平区）で取り組みを開始しました。また、町内会や福まち関係者を対象としたフォーラムを9月3日に開催しました。

今後の取組み

モデル地区において、年度末までに要援護者の避難支援体制を整備します。また、引き続き出前講座等の普及啓発を行います。



[9月3日フォーラム]

生活保護受給者に対する就労支援

進捗度 /

生活保護受給者の自立に向けて、多様な就労支援を行います。

上半期の取組み状況

就労支援相談員、就労カウンセラーによる支援とともに、母子世帯に対して就労カウンセリング事業を行っています。

今後の取組み

就労カウンセリング事業についてはその利用を増やすため、各区に事業の周知を図っていきます。



国民健康保険料収納率の向上

進捗度 /

保険サービス員制度の活用や口座振替の促進など滞納の未然防止対策をはじめとした収納対策を引き続き推進し、収入の確保と収納率向上に努めます。

上半期の取組み状況

収納対策の結果、一般現年度分保険料について、8月末で**25.23%**と前年同月比**+0.37%**となっております。

今後の取組み

今後も引き続き収納対策を推進し、予算収納率（現年度一般分86.00%）の確保を目指します。



(2) 行財政改革

財団法人札幌市在宅福祉サービス協会

進捗度！

処遇困難者に居宅介護支援や訪問介護サービスを提供するなど公益的な役割を果たしつつ、より安定した運営となるよう改善を図り、自立を一層促進します。

上半期の取組み状況

事務局への職員派遣を前年度から1名削減し、協力員派遣事業の補助金についても約2,300千円縮減しています。

今後の取組み

中期経営計画に基づき事業収支の均衡を図り、本市からの貸付金を50,000千円削減します。



社会福祉法人 札幌市福祉事業団

進捗度！

中期総合事業計画の達成状況を分析し、次期計画に反映させるとともに、引き続き安定的な経営基盤の確立と福祉サービスの向上に取り組めます。

上半期の取組み状況

長生園で特定入居者生活介護を開始し、サービスの充実を図りました。また、デイサービス事業についても順調に推移しております。

今後の取組み

引き続きお客様本位のサービスの提供と継続的なサービスの改善に取り組むとともに、経費の縮減に努めます。



(3) 市民との信頼関係の構築

障がい者による政策提言サポーター制度運営事業

進捗度 /

障がいのある方の意見を市政に反映するため、障がいのある方が自ら意見の聞き取り役や取りまとめ役となって政策提言を行います。

上半期の取組み状況

これまでの提言項目について検証を深めるため、検討会議重ね、政策提言に向けて議論を深めています。

今後の取組み

市役所担当課との意見交換会、市民との懇談会を実施し、市長に政策提言を行います。



社会福祉法人・社会福祉施設に関する情報提供の充実

進捗度 /

社会福祉法人、社会福祉施設等に対する指導監査に関する情報をホームページにて公開し、社会福祉施設の利用者等がより充実した福祉サービスを選択肢、利用することができるよう情報共有を進めます。

上半期の取組み状況

平成 20 年度に実施した指導監査の概要等をホームページにて公開するとともに、143 社会福祉法人と 329 施設に対する個々の定期指導監査結果についても新たにホームページにて公開いたしました。

今後の取組み

今後も、タイムリーな情報更新を行うことにより一層の情報提供の充実に努めます。



市民への「分かりやすい情報提供」の徹底

進捗度 /

局を横断するプロジェクトを昨年度に引き続き設置し、市民の視点に立った分かりやすい情報提供を行う観点から、市民サービスアップにつながる取組みを行っています。

上半期の取組み状況

昨年度までの実施内容を検証し、今年度の取組み事項の方向性について検討しました。

今後の取組み

上半期の取組み内容を受け、具体的な取組み事項を決定し、確実に実行していきます。

